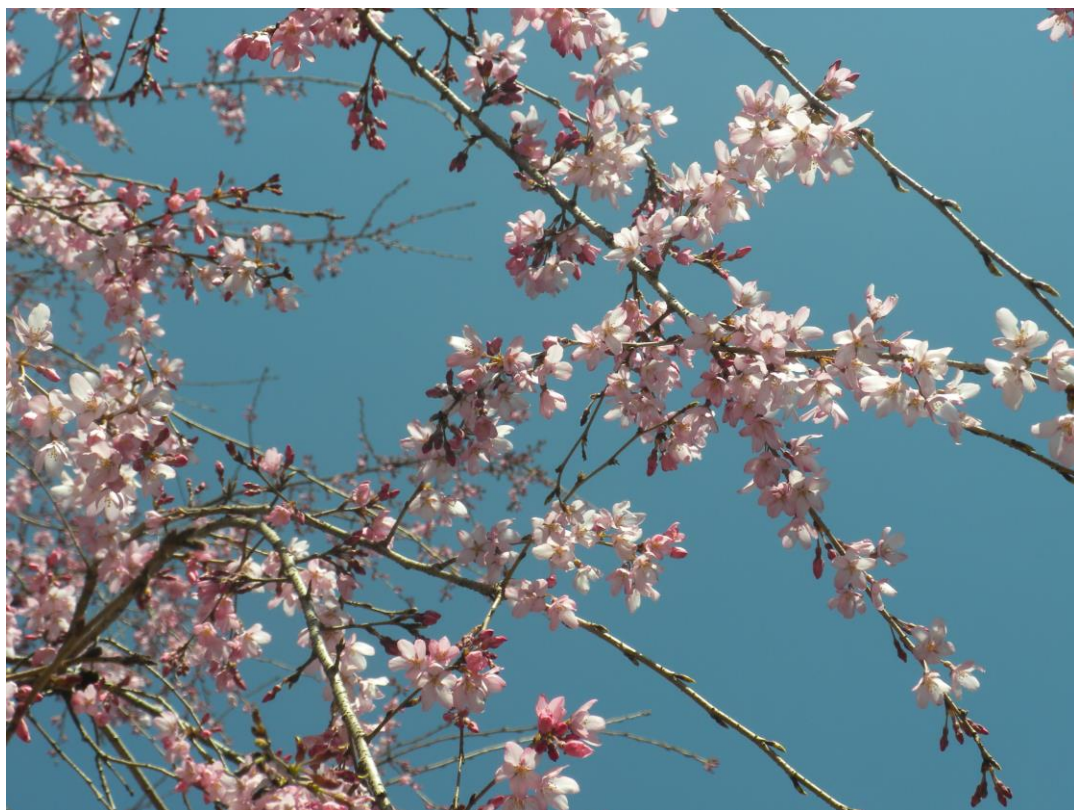


赤米ニュース

第287号

(2021年2月28日)



東京赤米研究会

〒186-0005 東京都国立市西3-7-29 アゼリア国立2-101 長沢方 (Tel.042-577-6855)

おしらせ	2293
おたより	2295
『赤米ニュース』第181号～第200号総目次.....	2296
表紙解説：江戸東京ゆかりの植物②—エドヒガンザクラ—	2298

お知らせ

●龍神さんの赤米報告第5弾！

国分寺赤米会代表で、本会会員でもある、龍神瑞穂さんが、『環境ひろば国分寺』152号（2020年10月18日発行）に、また報告を書いて下さいました。連載第5弾です。今回は、昨年9月9日（水）におこなわれた市立第五小学校5年生による赤米収穫体験活動のことを、くわしくまとめていただきました。その全文を、以下に転載させていただきました。

●新庁舎の屋上に赤米田んぼを！

東京都国分寺市では、市内泉町にある東京都公文書館の南の空き地に新庁舎を建設する計画が進められております。想定総事業費は138.8億円と見積もられており、2024年10月に竣工する予定です。新庁舎建設計画には、さまざまな環境対策が盛り込まれることになっており、昨年8月には「国分寺市新庁舎建設基本計画」が策定され、それにもとづいて同年9月、そのおおまかな計画内容が施工業者に提示されました。本年3月には、業者が



令和2年10月21日

国分寺市長

井澤 邦夫 様

環境ひろば

代表 龍神 瑞穂

「新庁舎建設に係る環境配慮」に関する提言

「環境ひろば」では、「新庁舎建設に係る環境配慮」について、「国分寺市新庁舎建設基本計画（以下「基本計画」という。）」に定める、環境対応機能を基にフリートーク（意見交換）を行いました。その結果、環境負荷低減への配慮として謳われている雨水利用、屋上緑化に関する具体的方策として、新庁舎屋上への水田の設置（水田耕作）について意見の一致をみましたので、以下のとおり提案します。

1. 水田の設置について

屋上（一部で可）に水田を設け、雨水を利用し、武蔵国分寺種赤米の栽培を行う。
また、水田はビオトープとしても機能させるため、耕作方式は、冬期湛水、不耕起、有機・無農薬栽培とする。水田の造成、耕作を含めた維持管理は、公募型協働事業により市民活動団体に委託する。これによって、屋上緑化、雨水利用はもとより、武蔵国分寺種赤米の普及・啓発、生物多様性の保全への寄与、市民協働の推進のほか、環境教育、食育、市民の憩いの場など多様な効果が期待できる。
なお、屋上での水田耕作、ビオトープ設置については実例が存在する。

2. 厨房の設置について

上記フリートークの中で、防災機能についても意見交換を行い、厨房設置の必要性について意見の一致をみたので、設置を提案する。
地震等災害発生時における、都立武蔵国分寺公園の活用を含め、災害対策本部機能として、炊飯設備は必須のアイテムである。

以上

決定される予定です。

これにともない、市の環境行政に市民の声を反映させるために設けられている、市民・事業者・市長の意見交換の場である「環境ひろば」でも、さまざまな話し合いが進められてきました。その結果、新庁舎建設にともなう環境対策についての、「環境ひろば」としての提案内容が昨年10月21日にとりまとめられ、市長に提出されることとなりました。提案には、新庁舎の屋上緑化、雨水の利用、地下の水の備蓄、ビオトープ作りなどの方針案が盛り込まれていますが、中でも注目されるのは、新庁舎屋上での赤米作りというユニークなプランです。

それによると、新庁舎屋上の一部に水田を設け、雨水を利用しつつ「武蔵国分寺種赤米」を栽培し、その水田をビオトープとしても機能させるということになっております。そのために赤米栽培は、冬期湛水・不耕起・有機無農薬栽培方式を採用し、その運営と管理は市民活動団体に委託するという基本方針が提案されております。その提言書の全文を、前ページに掲載させていただきましたので、参考にしていただきたいと思います。この素晴らしい計画が実現されることを、当会は心から期待しつつ、見守っていきたいと思っております。

おたより

●赤米定食、私も食べました（大石岳人）

本年もよろしくお願ひいたします。『赤米ニュース』、お送りいただき、ありがとうございました。自分も赤米定食いただきました（2/12：東京都国分寺市）。

●赤米フェアの続きです（長沢利明）

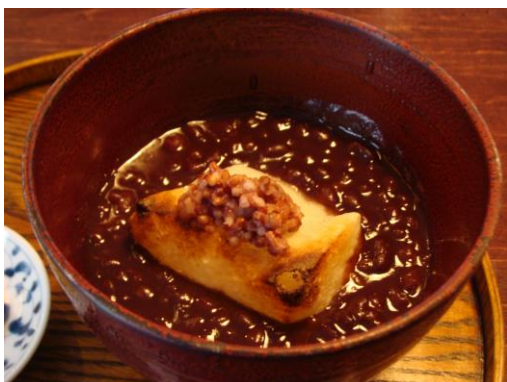
前号で、胡桃堂喫茶店（東京都国分寺市本町2-17-3）で開催中の「赤米フェア」について紹介しました。その後、私はまた胡桃堂をおとずれて、残りのメニューも試食してみま



赤米ブレンド珈琲「ハレの日」



赤米甘酒プリン



胡桃堂の赤米汁粉

したので、写真をお目にかけてみましょう（前ページ参照）。まず「赤米ブレンド珈琲・ハレの日」ですが、なかなかおいしいコーヒーでした。酸味の強い浅煎りコーヒーで、赤米もブレンドされているとのこと。そう言われてみれば赤米の香りと味がするようにも感じられるのですが、私のにぶい味覚と嗅覚ではよくわからなかったというのが正直なところです。でも、コーヒーそのものはとてもおいしかったです。次に「赤米甘酒プリン」ですが、これはもう文句なしにおいしい本物のプリンです。グラスに盛られたプリンの上に、店内で自家発酵させた赤米甘酒のもろみが載せられています。赤米のピンク色がとてもきれいです。赤米玄米のプチプチした食感も心地よく、砂糖をまったく使っていないというのも、素晴らしいことだと思いました。その次は「胡桃堂の赤米汁粉」ですが、大きな椀にたっぷり盛られた汁粉は、水気の少ない本格的な善哉で、どっしりとした小豆の味が魅力です。焼き餅の香ばしさも見事でした。添えられた柚子ジャムもまた、実にさわやかな風味で、おいしかったです。私は酒呑みなので、甘い物など滅多に食べませんが、たまにはこういうのもいいものだなあと思いました。どのメニューも、甘党の人も納得する一品ではないでしょうか。なお、すでに商品化のなされている胡桃堂名物の「赤米フロランタン」は、つねに店頭で販売されておりますし、今では他店でも買うことができます。国分寺市内でのその取扱店は現在、①胡桃堂喫茶店・②クルミド・コーヒー・③カフェスロー・④カフェローカル・⑤にしこくマルシェ・⑥焙煎珈琲いずみや、の6店となっております。胡桃堂さん、これからも頑張ってください。赤米の新商品・新メニューを開発して下さい。

期待しております（2/16：東京都国立市）。

●アカマンマは赤米飯？（長沢利明）

下の写真は、イヌタデ（タデ科）という植物の花です。国分寺市内の戸倉で見かけたので、撮影しました。どこにでも生えているありふれた畑の雑草ですが、赤い花が赤飯のように見えるため、これを「アカマンマ（赤い飯）」と呼ぶ地方が多いのです。女の子のままごと遊びでは、この花を葉っぱに盛って、赤飯に見立てています。けれども私は、アカマンマとは赤飯ではなくて、実は赤米飯のことを言ったのではなかったらうかと、いつも疑問に思ってきたのです。皆さんはどう思われますか？（2/17：東京都国立市）。



『赤米ニュース』第181号 ～第200号総目次

第181号（2012年4月1日）

4月の赤米作り	1438
おしらせ（再度種籾の配布について、自由研究は赤米で！）	1440
おたより（多久島實：来年は良い年に、長沢利明：赤米の釜飯）	1441

佐賀県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1442
 赤米雑話 (137) -----長沢利明 1443
 表紙解説-----1444
第 182 号 (2012 年 5 月 1 日)
 5 月の赤米作り-----1446
 おしらせ (種籾の配布完了) -----1448
 おたより (宮本悠子: 赤米奮闘記の報告, 長
 東京都沢利明: 「三助」の始まり) -----1448
 長崎県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1449
 赤米雑話 138-----長沢利明 1451
 表紙解説-----1452
第 183 号 (2012 年 6 月 1 日)
 6 月の赤米作り-----1454
 おしらせ (途中経過をお知らせ下さい) -1455
 おたより (菅野郁雄: 愛知県の赤米地名, 濱
 口景子: 5 年生が赤米栽培に挑戦, 長沢利
 明: 無洗米とは何か) -----1455
 熊本県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1456
 赤米雑話 139-----長沢利明 1458
 表紙解説-----1460
第 184 号 (2012 年 7 月 1 日)
 7 月の赤米作り-----1462
 おしらせ (播種後 20 目の生育状況, 播種後
 30 日目の生育状況) -----1463
 おたより (菅野郁雄: 奈良県の赤米地名, 長
 沢利明: 武蔵国分寺種、何とか発芽) --1464
 岡山県国司神社赤米栽培記--菅野郁雄 1464
 赤米雑話 140-----長沢利明 1466
 表紙解説-----1468
第 185 号 (2012 年 8 月 1 日)
 8 月の赤米作り-----1470
 おしらせ (芋野郷赤米保存会発足, 播種後 40
 日目の生育状況、播種後 50 日目の生育状

況, 播種後 60 日目の生育状況)-----1471
 おたより (菅野郁雄: 平成 24 年赤米栽培記
 ①, 芦田行雄: 芋野郷赤米保存会の発足と
 田植えのお知らせ)-----1472
 大分県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1473
 赤米雑話 141-----長沢利明 1474
 表紙解説-----1476
第 186 号 (2012 年 9 月 1 日)
 9 月の赤米作り-----1478
 おしらせ (播種後 70 日目の生育状況, 播種
 後 80 日目の生育状況, 播種後 90 日目の生
 育状況) -----1480
 おたより (菅野郁雄: 赤米地名調査終了, 木
 下涼太: フランスの赤米, 菅野郁雄: とう
 ぼし・大唐田まよめの件, 長沢利明: 北の
 黒米ラーメン, 長沢利明: ネリカ稲は赤米
 稲?) -----1481
 宮崎県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1483
 赤米雑話 142-----長沢利明 1484
 表紙解説-----1484
第 187 号 (2012 年 10 月 1 日)
 10 月の赤米作り-----1486
 おしらせ (播種後 100 日目の生育状況, 播種
 後 110 日目の生育状況, 播種後 120 日目の
 生育状況) -----1488
 おたより (濱口景子: 暑中お見舞い申し上げ
 ます, 長沢利明: ネリカ稲出穂, 内藤大貴:
 長沢先生に質問) -----1488
 鹿児島県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1489
 赤米雑話 143-----長沢利明 1490
 表紙解説-----1492
第 188 号 (2012 年 11 月 1 日)
 おしらせ (播種後 130 日目の生育状況, 播種

後 140 日目の生育状況, 会員登録の更新の
お知らせ) -----1494
 おたより (長沢利明: 津軽の赤米?, 廣木沙
織: 種子を分けて下さい) -----1494
 島根県のとうほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1495
 赤米雑話 144-----長沢利明 1497
 表紙解説-----1500
第 189 号 (2012 年 12 月 1 日)
 おしらせ (再度会員登録の更新のお知らせ,
 国士舘大学の学生の皆さんへ) -----1502
 おたより (木下涼太: 秋田こまちはおいしい,
 多久島實: 本年は普通作, 木下涼太: 来年
 度もよろしく, 長沢利明: 消費量、過去最
 低を更新) -----1502
 兵庫県・京都府・岡山県・福島県のとうほし
 田・たいとう田-----菅野郁雄 1503
 赤米雑話 145-----長沢利明 1504
 表紙解説-----1508
第 190 号 (2013 年 1 月 31 日)
 おしらせ (今年もよろしく願い致します,
 芦田行雄先生ご逝去) -----1510
 おたより (長沢利明: ネリカ米は白米, 坂真
 矢子: 古代米の甘酒) -----1511
 愛知県のとほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1511
 赤米雑話 146-----長沢利明 1512
 表紙解説-----1516
第 191 号 (2013 年 2 月 28 日)
 おしらせ (法政大学・国士舘大学の学生の皆
 さんへ) -----1518
 おたより (鈴木誠: 猫に荒らされました, 菅
 野郁雄: 来年は種子島種を, 安本義正: お
 めでとうございます, 森南聖后: 謹賀新年,
 西トミ江: 鹿児島で赤米を, 瀬川洋子: 今
 年こそ!, 坂真矢子: 今年もよろしく, 長

沢利明: 種子島に行ってきました, 山田義
 高: 赤米 7 種順調, 横山明子: そこそこの
 出来) -----1518
 奈良県のとほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1520
 赤米雑話 147-----長沢利明 1521
 表紙解説-----1524
第 192 号 (2013 年 3 月 31 日)
 おしらせ (今年度用の種籾を配布します, そ
 の他の珍しい稲の種籾を配布します) 1526
 おたより (長沢利明: 長いシメ縄) -----1527
 福岡県のとほし田・たいとう田
 -----菅野郁雄 1528
 赤米雑話 148-----長沢利明 1531
 表紙解説-----1532
第 193 号 (2013 年 4 月 30 日)
 4 月の赤米作り-----1534
 おしらせ (「あかごめがっこう」の閉校式)
 -----1536
 おたより (芦田哲: 閉校式のご案内, 長沢利
 明: 信州小布施にて) -----1537
 平成 24 年岡山県総社国司神社の赤米栽培記
 (上) -----菅野郁雄 1537
 赤米雑話 149-----長沢利明 1539
 表紙解説-----1540
第 194 号 (2013 年 5 月 1 日)
 5 月の赤米作り-----1542
 おしらせ (種子島の赤米の記事) -----1544
 おたより (長沢利明: 種子島再訪) -----1544
 平成 24 年岡山県総社国司神社の赤米栽培記
 (下) -----菅野郁雄 1545
 赤米雑話 150-----長沢利明 1547
 表紙解説-----1548
第 195 号 (2013 年 6 月 30 日)
 6 月の赤米作り-----1550
 おしらせ (赤米種子の追加配布, 播種後 10

日目の生育状況, あかごめ学校閉校式, 芋野郷赤米保存会発足) -----1551
 おたより (長沢利明:「町田弁当」の黒米) -----1552
 赤米雑話 151-----長沢利明 1553
 表紙解説-----1556
第196号 (2013年7月31日)
 7月の赤米作り-----1558
 おしらせ (播種後 20 日目の生育状況, 播種後 30 日目の生育状況, 播種後 40 日目の生育状況) -----1559
 おたより (長沢利明: 種子島種は順調, 青木沙織: 種籾をお願いします) -----1560
 赤米雑話 152-----長沢利明 1561
 表紙解説-----1564
第197号 (2013年8月31日)
 8月の赤米作り-----1566
 おしらせ (赤米地名の研究論文, 播種後 50 日目の生育状況, 播種後 60 日目の生育状況, 播種後 70 日目の生育状況) -----1567
 おたより (長沢利明: イタズラに困っています) -----1568
 赤米雑話 153-----長沢利明 1569
 表紙解説-----1572
第198号 (2013年9月30日)
 9月の赤米作り-----1574
 おしらせ (種子島の赤米の研究報告, 播種後 80 日目の生育状況, 播種後 90 日目の生育状況) -----1576
 おたより (菅野郁雄: 失敗しました, 長沢利明: 水滴の星空) -----1576
 種子島宝満神社資料集 (1) -----長沢利明 1577
 表紙解説-----1580
第199号 (2013年10月31日)
 10月の赤米作り-----1582
 おしらせ (播種後 100 日目の生育状況, 播種

後 110 日目の生育状況, 播種後 120 日目の生育状況) -----1584
 おたより (鈴木誠: ネリカ米が出穂しました!, 長沢利明: 武蔵国分寺種が出穂, 菅野郁雄: 赤米栽培失敗記) -----1584
 種子島宝満神社資料集 (2) -----長沢利明 1586
 表紙解説-----1588
第200号 (2013年11月30日)
 『赤米ニュース』200号記念報告: トウボシ語源考 (I) -----1590
 おしらせ (祝会報 200号達成!, 播種後 130 日目の生育状況, 会員登録の更新のおしらせ) -----1594
 おたより (長沢利明: 赤米稲は続々と出穂, 長沢利明: イナゴの被害) --- -----1595
 表紙解説-----1596

〔表紙解説〕江戸東京ゆかりの植物②—エドヒガンザクラ—

桜は日本人にもっとも愛されている春の花で、日本の国花でもある。かつての江戸の郊外には、上野山・飛鳥山・御殿山・小金井など各地に桜の名所があって、春になると花見客でにぎわっていた。当時の日本には300種類もの桜の品種があり、ぞくぞくと新品种が生み出されていたという。「江戸」の名の付く品種もいくつかあるが、代表的なのはエドヒガンザクラ（江戸彼岸桜）だろう。春彼岸の頃から花が咲き出す早咲き型の桜の一群を「彼岸桜」と呼ぶけれども、その中の一種がエドヒガンザクラだ。ソメイヨシノに比べると花が小さく、花の色は白または淡いピンク色をしている。実をいえば、このエドヒガンザクラは改良品種ではなく野生種なのであって、本州中部以西の山野に広く自生する。岩手県盛岡市の桜の名木、「石割桜」も実は本種なのだった。樹齢50年ほどですぐに老成してしまうソメイヨシノと違い、エドヒガンザクラは何百年も生きるため、各地にその銘木が残されている。